

「プラスチックごみ問題に関する世論調査」の概要

令和4年11月
内閣府政府広報室

調査対象	全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人 有効回収数1,791人（有効回収率59.7%）
調査期間	令和4年9月1日～10月9日
調査方法	郵送法
調査目的	プラスチックごみ問題に関する国民の意識を把握し、 今後の施策の参考とする。
調査項目	プラスチックごみ問題について
調査実績	「環境問題に関する世論調査」（令和元年8月調査）
関係府省庁	環境省
その他	<ol style="list-style-type: none">1 新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、調査員と調査対象の方との接触を回避するため、郵送法で実施した。2 令和元年8月調査は調査員による個別面接聴取法で実施しているため、郵送法で実施した令和4年9月調査との単純比較は行わない。3 図表の数値(%)は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計が100にならないこともある。

プラスチックごみ問題について

(1) レジ袋有料化や新法施行による関心や行動の変化

【資料1】

プラスチックは、軽くて丈夫であるという便利な特性から、様々な製品に利用される一方、適正に廃棄されず海洋プラスチックごみ問題を引き起こしているなど課題もあります。

日本では2020年7月にレジ袋有料化が始まり、レジ袋使用量は半減、今年4月には新たに「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、プラスチックの製品設計からごみ処理までのライフサイクル各段階で、資源循環の取組を促進することとされました。

(上記資料1を提示して)

問1. レジ袋有料化や新しい法律の施行により、あなたのプラスチックごみ問題への関心やご自身の行動に変化はありましたか。(は1つ)

令和4年9月

- ・それら以前よりプラスチックごみ問題への関心が高く、マイバッグ・マイボトルの持参、スプーン・ストローの辞退など具体的な行動をとっていた 19.3%
- ・プラスチックごみ問題への関心が高まったため、マイバッグ・マイボトルの持参、スプーン・ストローの辞退など具体的な行動を行うようになった 58.8%
- ・プラスチックごみ問題への関心は高まったが、行動に変化はない 16.2%
- ・プラスチックごみ問題への関心は高まっておらず、行動に変化はない 4.2%

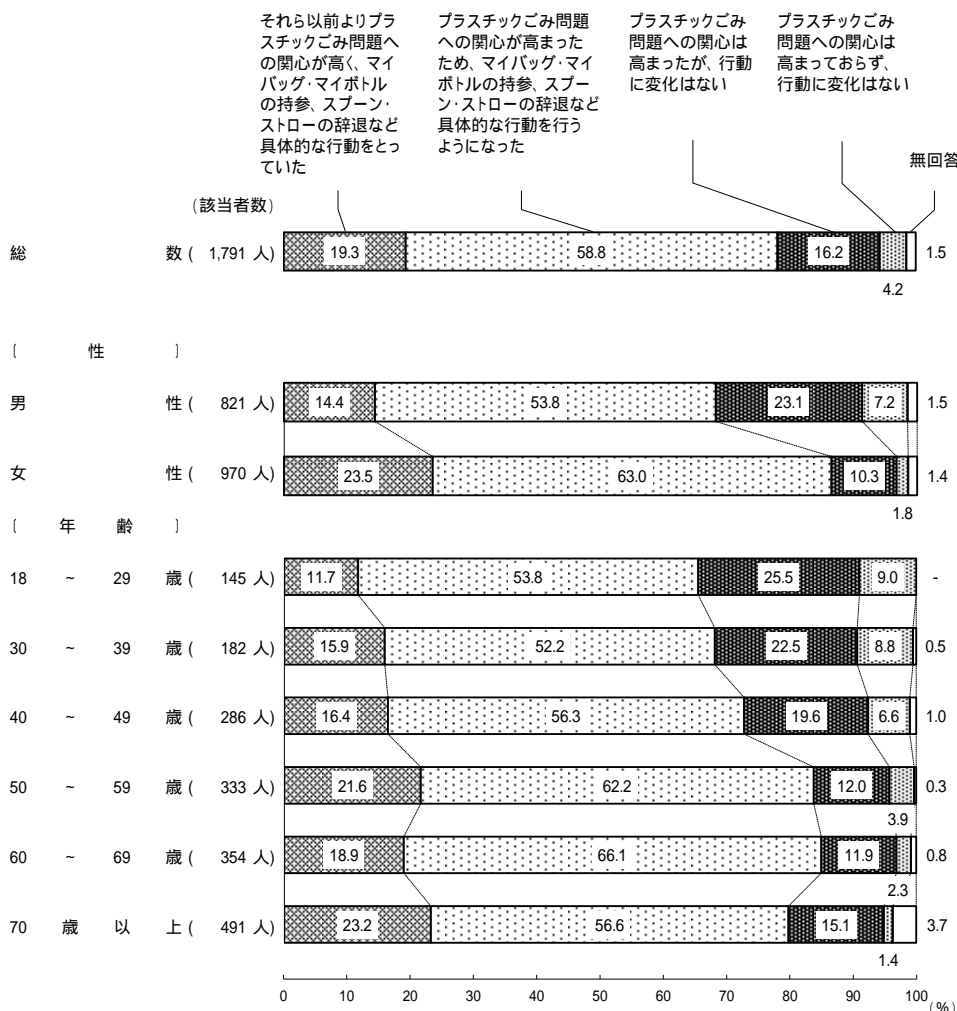


表1 レジ袋有料化や新法施行による関心や行動の変化

	該 当 者 数	動 口 の 辞 退 な ど 具 体 的 な 行 動 を と つ て い た	く の 持 参 ス プ ー グ ・ マ イ ボ ト の 行 動	そ れ ら 以 前 よ り プ ラ ス チ ッ ク の 関 心 が 高 い	う 辞 退 な ど 具 体 的 な 行 動 を 行 う よ う に な つ た	参 加 ス プ ー グ ・ マ イ ボ ト の 行 動 を 行 う よ う に な つ た	バ ッ ク が 高 ま つ た た め の 行 動 を 行 う よ う に な つ た	プ ラ ス チ ッ ク ご み 問 題 へ の 関 心 が 高 ま つ た た め の 行 動 を 行 う よ う に な つ た	変 化 は な い	関 心 は 高 ま つ た が 、 問 題 へ の 行 動 は な い	プ ラ ス チ ッ ク ご み 問 題 へ の 関 心 は 高 ま つ た が 、 問 題 へ の 行 動 は な い	無 回 答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔 都 市 規 模 〕 大 都 市 部	1,791	19.3	58.8	16.2	4.2	1.5						
東 京 都 区 部	500	19.0	58.4	16.8	4.6	1.2						
政 令 指 定 都 市	110	16.4	68.2	12.7	1.8	0.9						
中 都 市	390	19.7	55.6	17.9	5.4	1.3						
小 都 市	722	19.9	56.9	17.0	4.2	1.9						
町 村	403	18.9	60.3	15.1	4.5	1.2						
〔 性 〕	166	18.7	64.5	13.3	3.0	0.6						
男 性	821	14.4	53.8	23.1	7.2	1.5						
女 性	970	23.5	63.0	10.3	1.8	1.4						
〔 年 齢 〕												
18 ~ 29 歳	145	11.7	53.8	25.5	9.0	-						
30 ~ 39 歳	182	15.9	52.2	22.5	8.8	0.5						
40 ~ 49 歳	286	16.4	56.3	19.6	6.6	1.0						
50 ~ 59 歳	333	21.6	62.2	12.0	3.9	0.3						
60 ~ 69 歳	354	18.9	66.1	11.9	2.3	0.8						
70 歳 以 上	491	23.2	56.6	15.1	1.4	3.7						

(2) レジ袋有料化後のレジ袋の辞退状況

問2.あなたは、2020年7月にレジ袋有料化が始まってから、レジ袋を辞退するようになりましたか。(は1つ)

令和4年9月

- ・有料化以前から、レジ袋を辞退している 16.1%
- ・有料化後から、レジ袋を辞退している 44.1%
- ・レジ袋が有料の場合は辞退し、無料の場合は受け取っている 25.3%
- ・有料化後も、レジ袋を購入している 13.3%

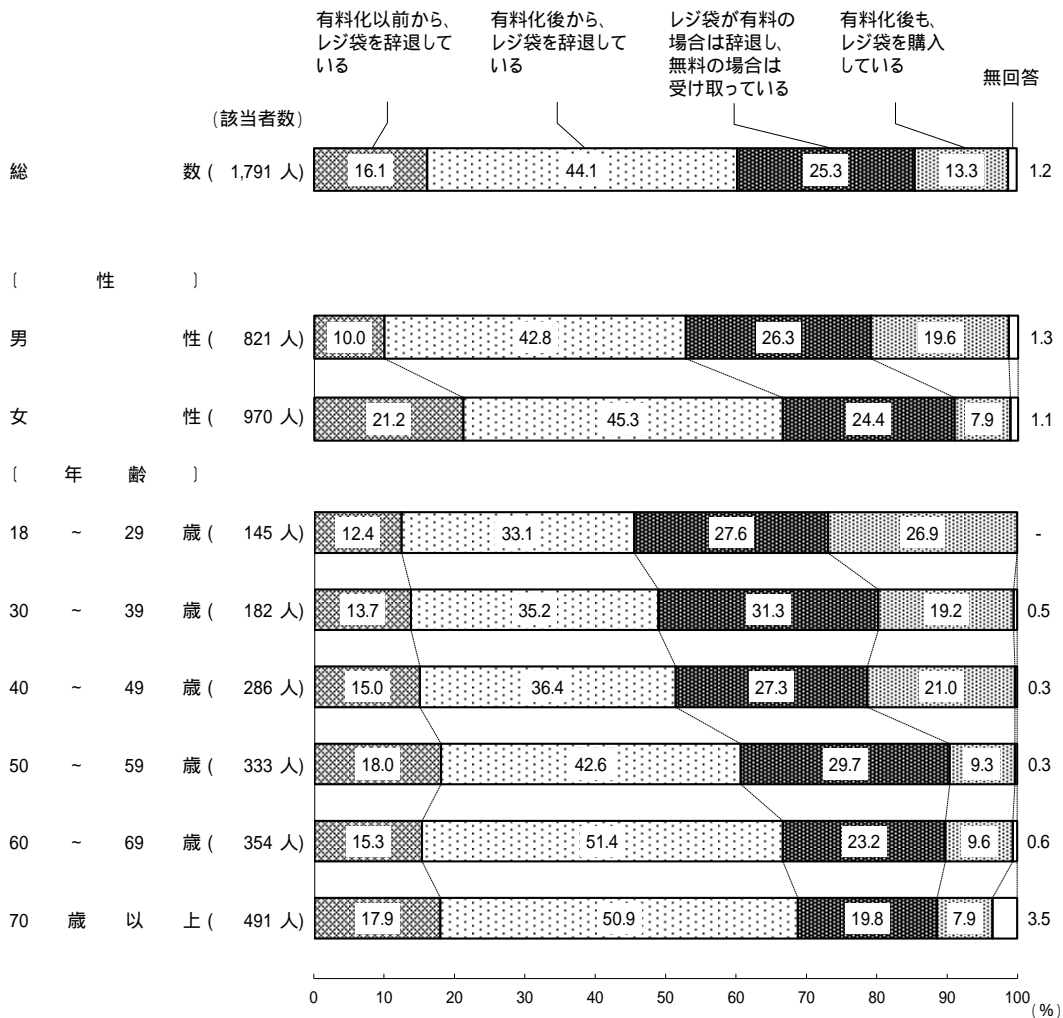


表2 レジ袋有料化後のレジ袋の辞退状況

	該 当 者 数	有 料 化 以 前 か ら 、 レ ジ 袋 を 辞 退 し て い る	有 料 化 後 か ら 、 レ ジ 袋 を 辞 退 し て い る	レ ジ 袋 が 有 料 の 場 合 は 受 け 取 つ て い る	有 料 化 後 も 、 レ ジ 袋 を 購 入 し て い る	無 回 答
	人	%	%	%	%	%
総 〔 都 市 規 模 〕 大 都 市	1,791	16.1	44.1	25.3	13.3	1.2
東 京 都 区 部	500	16.0	43.0	26.4	12.8	1.8
政 令 指 定 都 市	110	13.6	45.5	23.6	15.5	1.8
中 都 市	390	16.7	42.3	27.2	12.1	1.8
小 都 市	722	16.6	44.2	23.1	15.1	1.0
町 村	403	15.1	47.1	25.6	10.9	1.2
〔 性 〕	166	16.3	39.8	30.7	12.7	0.6
男 性	821	10.0	42.8	26.3	19.6	1.3
女 性	970	21.2	45.3	24.4	7.9	1.1
〔 年 齢 〕						
18 ~ 29 歳	145	12.4	33.1	27.6	26.9	-
30 ~ 39 歳	182	13.7	35.2	31.3	19.2	0.5
40 ~ 49 歳	286	15.0	36.4	27.3	21.0	0.3
50 ~ 59 歳	333	18.0	42.6	29.7	9.3	0.3
60 ~ 69 歳	354	15.3	51.4	23.2	9.6	0.6
70 歳 以 上	491	17.9	50.9	19.8	7.9	3.5

(ア) レジ袋を辞退している理由

(問2で、「有料化後から、レジ袋を辞退している」、「レジ袋が有料の場合は辞退し、無料の場合は受け取っている」と答えた者に)

問3. レジ袋を辞退している理由は何ですか。(は1つ)

令和4年9月

- ・ 有料化後、レジ袋を使用しないことを心掛けるようになったため 13.8%
- ・ 有料化後、マイバックを持ち歩くことが多くなったため 68.5%
- ・ 少量しか買い物せず、そもそもレジ袋は必要ないと感じるため 3.3%
- ・ レジ袋が有料の場合、購入するほどの必要はないと感じるため 11.3%

〔「有料化後から、レジ袋を辞退している」、「レジ袋が有料の場合は辞退し、無料の場合は受け取っている」と答えた者に〕

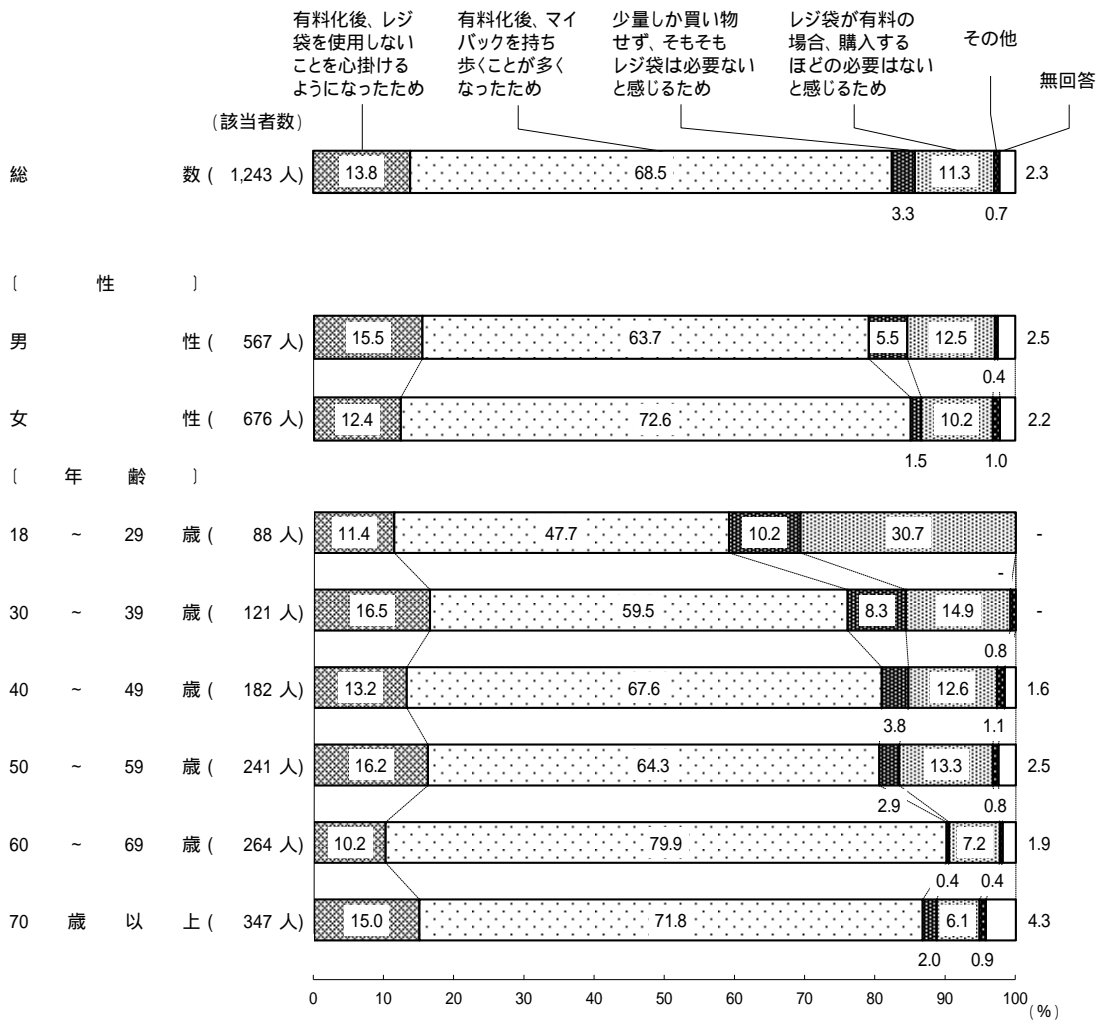


表3 レジ袋を辞退している理由

〔「有料化後から、レジ袋を辞退している」、「レジ袋が有料の場合には辞退し、無料の場合は受け取っている」と答えた者に〕

	該 当 者 数	有 料 化 後 、 レ ジ 袋 を 使 用 し な い こ と を 心 掛 け る よ う に な っ た た め	有 料 化 後 、 マ イ バ ッ ク を 持 ち 歩 く こ と が 多 く な っ た た め	少 量 し か 買 い 物 せ ず 、 そ も そ も レ ジ 袋 は 必 要 な い と 感 じ る た め	レ ジ 袋 が 有 料 の 場 合 、 購 入 す る ほ ど の 必 要 は な い と 感 じ る た め	そ の 他	無 回 答
	人	%	%	%	%	%	%
総数	1,243	13.8	68.5	3.3	11.3	0.7	2.3
〔都市規模〕							
大都市	347	15.3	65.1	4.6	12.7	0.9	1.4
東京都区部	76	19.7	61.8	5.3	11.8	1.3	-
政令指定都市	271	14.0	66.1	4.4	12.9	0.7	1.8
中都市	486	14.2	68.3	2.3	12.3	0.6	2.3
小都市	293	10.6	71.7	4.1	9.2	1.0	3.4
町	117	16.2	71.8	1.7	7.7	-	2.6
〔性〕							
男性	567	15.5	63.7	5.5	12.5	0.4	2.5
女性	676	12.4	72.6	1.5	10.2	1.0	2.2
〔年齢〕							
18～29歳	88	11.4	47.7	10.2	30.7	-	-
30～39歳	121	16.5	59.5	8.3	14.9	0.8	-
40～49歳	182	13.2	67.6	3.8	12.6	1.1	1.6
50～59歳	241	16.2	64.3	2.9	13.3	0.8	2.5
60～69歳	264	10.2	79.9	0.4	7.2	0.4	1.9
70歳以上	347	15.0	71.8	2.0	6.1	0.9	4.3

(3) 過剰だと思うプラスチックを使用した製品やサービス

問4. あなたは、プラスチックを使用した様々な製品やサービスの中で、過剰だと思うものはありますか。(はいいくつでも)

(上位 4 項目)
令和 4 年 9 月

- ・ お弁当で使われている使い捨て小分け用容器や飾り 50.2%
- ・ ペットボトルのラベル 40.2%
- ・ 通販などで運搬の際に使用される包装や緩衝材 38.9%
- ・ 飲み物と一緒に提供されるかき混ぜ棒・マドラー 33.6%

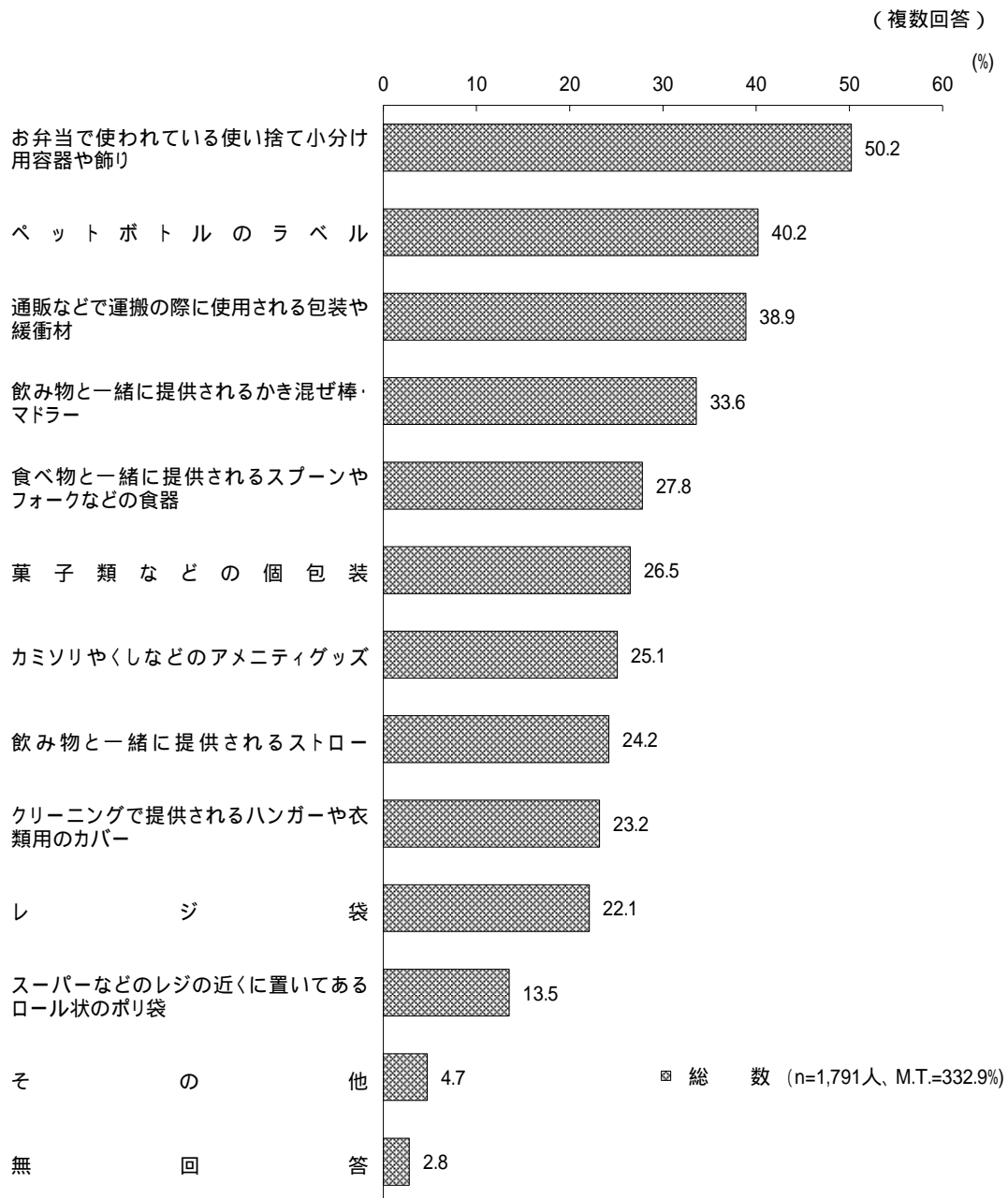


表4 過剰だと思うプラスチックを使用した製品やサービス

(複数回答)

	該当者数	捨てお弁当で使われ 小分け用容器や飾り	ペットボトルのラベル	通販などで運搬の際に される包装や緩衝材	飲み物と一緒に提供される かき混ぜ棒・マドラー	食器やスプーンやフォークなどの 食べ物と一緒に提供される	菓子類などの個包装	カミソリやくしなどのアメ ニティグッズ	飲み物と一緒に提供される ストロー	ハンガーや衣類用のカバー	クリーニングで提供される	レジ袋	スリパーなどのレジの近く に置いてあるロール状のボク リ袋	その他	無回答	計 (M.T.)
		人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数 〔都市規模〕	1,791	50.2	40.2	38.9	33.6	27.8	26.5	25.1	24.2	23.2	22.1	13.5	4.7	2.8	332.9	
大都市	500	51.2	43.0	42.0	34.0	28.2	26.0	26.4	26.0	22.6	21.8	14.4	4.2	3.0	342.8	
東京都区部	110	48.2	41.8	41.8	40.0	32.7	25.5	31.8	32.7	23.6	27.3	12.7	4.5	1.8	364.5	
政令指定都市	390	52.1	43.3	42.1	32.3	26.9	26.2	24.9	24.1	22.3	20.3	14.9	4.1	3.3	336.7	
中都市	722	48.9	40.6	38.2	33.7	28.4	26.5	25.5	23.5	23.3	21.6	11.6	5.7	2.9	330.3	
小都市	403	48.6	38.2	38.5	32.3	25.3	25.6	23.3	21.8	21.1	25.6	15.1	3.2	3.5	322.1	
町村	166	56.6	34.9	33.7	35.5	30.1	30.7	24.1	27.7	30.1	16.9	14.5	5.4	0.6	341.0	
〔性〕																
男性	821	49.1	36.8	34.6	31.2	26.7	26.2	21.7	21.9	23.0	22.9	15.1	5.1	3.5	317.8	
女性	970	51.1	43.1	42.6	35.7	28.8	26.8	28.0	26.2	23.4	21.4	12.1	4.3	2.3	345.8	
〔年齢〕																
18～29歳	145	38.6	49.7	35.2	25.5	11.7	28.3	21.4	8.3	15.9	19.3	15.9	6.2	2.8	278.6	
30～39歳	182	42.3	41.2	44.5	25.8	15.4	20.9	20.3	13.2	23.6	11.0	8.2	6.6	2.7	275.8	
40～49歳	286	46.2	44.1	39.9	32.2	20.3	22.4	25.9	17.5	17.1	11.9	11.2	4.2	2.4	295.1	
50～59歳	333	52.6	38.7	41.7	30.9	25.2	21.3	22.8	24.9	18.6	21.9	11.7	5.1	1.5	317.1	
60～69歳	354	55.1	46.0	41.2	36.7	34.2	28.8	29.9	29.4	24.9	26.8	12.4	4.8	2.3	372.6	
70歳以上	491	53.8	31.6	33.8	39.3	38.7	32.4	25.7	32.8	30.8	29.7	17.9	3.5	4.5	374.3	

表4 - 参考 過剰だと思うプラスチックを使用した製品やサービス

(複数回答)

	該当者数	お弁当で使う使い捨て 小分け用容器や飾り	レジ袋	通販などで使用される包装、 緩衝材	飲み物と一緒に提供される ストロー・かき混ぜ棒	食器やスプーンやフォークなどの 食べ物と一緒に提供される	食べ物と一緒に提供される スプーンなどの	イベントで配布されるうち わ	ペットボトルのラベル	ロール状のポリ袋	スリパーなどのレジの近く に置いてある	ペットボトル	その他	特にな	わか	計 (M.T.)
		人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
令和元年8月調査	1,667	50.3	50.1	45.8	44.8	36.9	35.0	34.7	30.2	27.0	0.2	5.6	0.8	361.4		

(注1) 令和元年8月調査では、「あなたは、プラスチックを使用した様々な商品やサービスの中で、過剰だと思うものはありますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 令和元年8月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年9月調査との単純比較は行わない。

(4) プラスチックごみ問題解決に向けた取組

問5. 企業などの取組だけでなく、1人1人の取組が、海洋プラスチックごみ問題や気候変動問題などの環境問題の解決につながります。あなたは、プラスチックごみ問題の解決への貢献として、今後どのようなことに取り組んでいきたいですか。(はいくつでも)

(上位4項目)
令和4年9月

- ・自治体などの分別ルールに従って、プラスチックごみと燃やすごみなどの他のごみを正しく分別する 77.6%
- ・シャンプーなどの詰め替えパック、鮮魚・精肉や総菜などが入っていた発泡トレイなど使用済みプラスチック製品の店頭回収に協力する 56.1%
- ・マイボトルを持参することにより、ペットボトルなどの使い捨ての飲料容器をできる限り使用しない 45.4%
- ・スプーンなどの食器・ストロー・おしぼり・アメニティグッズをできる限り受け取らない 45.3%

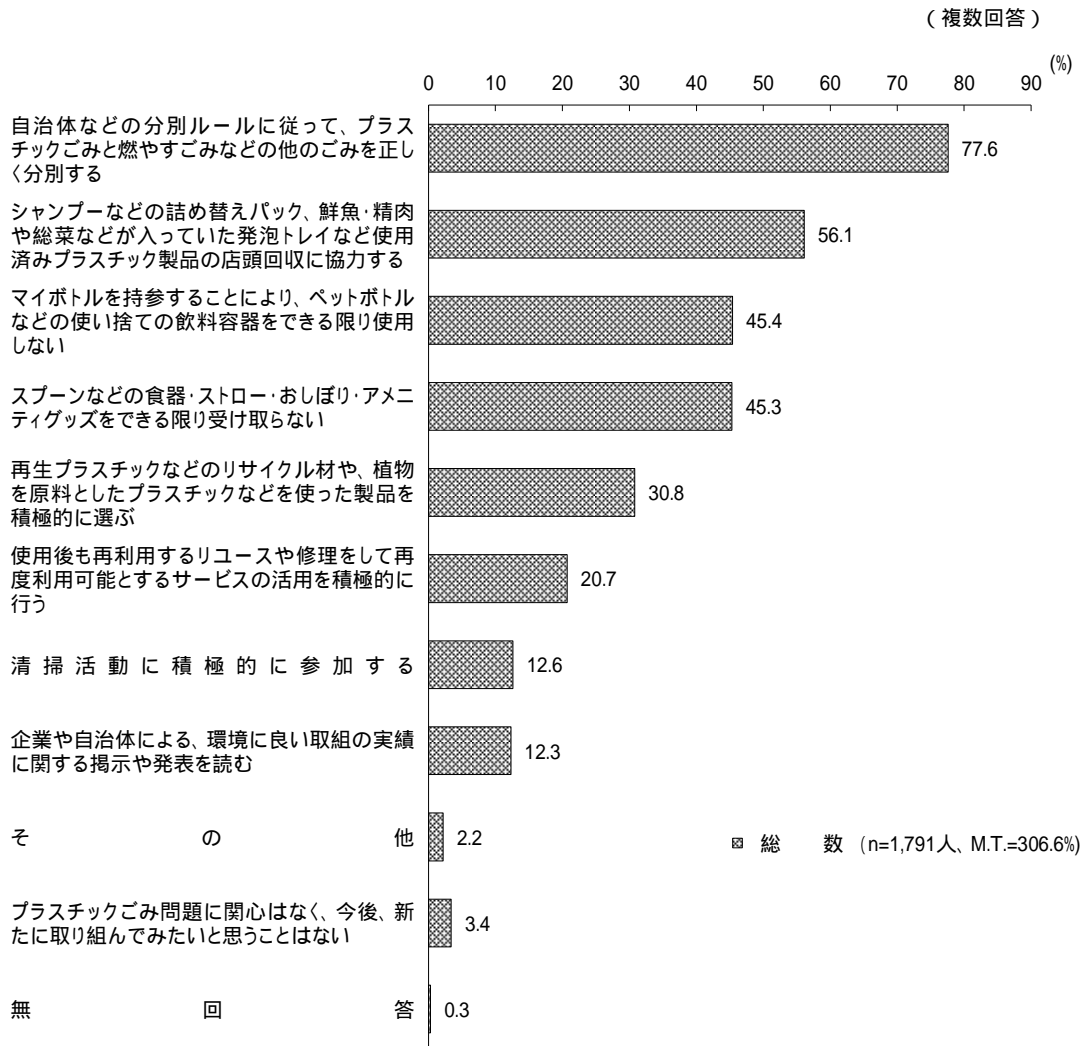


表5 プラスチックごみ問題解決に向けた取組

(複数回答)

	該 当 者 数	無 回 答											計 (M.T.)		
		と燃やすごみなどの他のごみを正しく分別する	自治体などの分別ルールに従って、プラスチックごみ	ク製品の店頭回収に協力する	などが入っていた発泡トレイなど使用済みプラスチック製品	シャンブーなどの詰め替えパック、鮮魚・精肉や総菜	の使い捨ての飲料容器をできる限り使用しない	マイボトルを持参することにより、ペットボトルなど	スプーンなどの食器・ストロー・おしぼり・アメニティグッズをできる限り受け取らない	再生プラスチックなどのリサイクル材や、植物を原料としたプラスチックなどを使った製品を積極的に選ぶ	使用後も再利用するリユースや修理をして再度利用可能なとするサービスの活用を積極的に行う	清掃活動に積極的に参加する		企業や自治体による、環境に良い取組の実績に関する掲示や発表を読む	その他
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,791	77.6	56.1	45.4	45.3	30.8	20.7	12.6	12.3	2.2	3.4	0.3	306.6		
〔都市規模〕															
大都市	500	79.0	54.8	45.2	45.0	29.4	20.8	10.8	13.0	2.6	3.4	0.2	304.2		
東京都	110	81.8	62.7	55.5	50.0	30.9	31.8	10.9	13.6	2.7	0.9	-	340.9		
政令指定都市	390	78.2	52.6	42.3	43.6	29.0	17.7	10.8	12.8	2.6	4.1	0.3	293.8		
中都市	722	74.9	53.3	45.0	46.8	29.9	19.4	12.0	11.4	2.4	4.3	0.6	300.0		
小都市	403	78.9	60.8	46.2	40.7	32.5	22.3	13.9	10.4	1.5	2.5	0.2	309.9		
町	166	81.3	60.8	45.8	51.2	34.3	22.3	16.9	18.7	1.8	1.8	-	334.9		
〔性〕															
男性	821	74.8	50.5	34.6	36.7	29.4	20.2	13.3	11.4	2.8	5.2	0.5	279.4		
女性	970	79.9	60.8	54.5	52.7	32.0	21.1	12.0	13.0	1.6	1.9	0.2	329.7		
〔年齢〕															
18～29歳	145	62.8	38.6	42.1	30.3	27.6	22.1	11.7	6.9	1.4	8.3	-	251.7		
30～39歳	182	64.3	40.7	41.2	36.3	22.0	14.8	7.1	3.3	2.2	9.3	-	241.2		
40～49歳	286	68.5	49.3	41.3	43.7	23.8	20.3	8.7	7.7	3.5	4.2	-	271.0		
50～59歳	333	80.5	54.7	45.3	48.0	29.4	19.5	10.5	7.5	1.2	1.8	-	298.5		
60～69歳	354	82.8	65.3	47.5	48.6	33.6	22.3	13.0	13.8	2.5	1.1	-	330.5		
70歳以上	491	86.4	65.4	48.9	49.9	37.9	22.4	18.1	22.0	2.0	2.0	1.2	356.2		

表5 - 参考 プラスチックごみ問題解決に向けた取組

(複数回答)

	該 当 者 数	マイ バ ッ グ を 持 参 す る な ど、 で き る 限 り レ ジ 袋 を 受 け 取 ら な い	ポ イ 捨 て ・ 不 法 投 棄 は し な い	ル ー ル に 従 っ て、 ご み を 正 し く 分 別 す る	お し ぼ り ・ ア メ ニ テ ィ グ ッ ズ を 受 け 取 ら な い で き る 限 り ス プ ー ン な ど の 食 器 ・ ス ト ロ ー	し な い マ イ ボ ト ル を 持 参 す る な ど、 使 い 捨 て の 飲 料 容 器 (ペ ツ ト ボ ト ル な ど) を で き る 限 り 使 用 し な い	リ サ イ ク ル 材 や、 植 物 を 原 料 と し た プ ラ ス チ ッ ク な ど を 使 っ た 製 品 を 積 極 的 に 選 ぶ	路 上 な ど に 落 ち て い る ご み を 積 極 的 に 拾 う	街 中 や 海 岸 で 行 わ れ る 清 掃 活 動 に 積 極 的 に 参 加 す る	そ の 他	な い 今 後、 新 た に 取 り 組 ん で み た い と 思 う こ と は	わ か ら な い	計 (M. T.)
令 和 元 年 8 月 調 査	人 1,667	% 56.3	% 53.1	% 52.2	% 41.1	% 38.0	% 32.3	% 24.5	% 18.2	% 0.6	% 5.1	% 0.5	% 321.9

(注1) 令和元年8月調査では、「プラスチックごみ問題を悪化させないために、今後どのようなことに取り組んでいきたいと思
いますか。現在、心がけていないことで、今後、新たに取り組んでみたいことを、この中からいくつでもあげてくださ
いと聞いている。

(注2) 令和元年8月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年9月調査との単純比較は行
われない。

(5) 環境に配慮した代替製品の購入条件

【資料 2】

プラスチックごみ問題の解決への貢献に向けて、リサイクル材や植物を原料としたプラスチックや微生物によって分解される性質をもつ生分解性プラスチック、あるいはプラスチックの代わりに紙などの代替素材を使用するといった、環境に配慮した製品が販売されています。環境に配慮した代替製品は従来品と比べて、耐久性が低くなる、価格が高くなるなど、品質や価格などが変化することがあります。

(上記資料 2 を提示して)

問 6 . あなたは、日用品・雑貨などの環境に配慮した製品について、どのような条件が合えば購入してもよいと思いますか。価格・品質などの条件のうち、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(〃 は 1 つ)

令和 4 年 9 月

- ・ 価格と品質ともに、こだわらず環境に配慮された製品を購入 10.9%
- ・ 従来品と比べて、多少価格が高くて、品質が同等であれば購入 16.7%
- ・ 従来品と比べて、多少価格が高くて、品質が高ければ購入 12.8%
- ・ 従来品と比べて、価格が同じであれば、多少品質が低くても購入 12.6%
- ・ 従来品と比べて、価格も品質も同等であれば購入 31.5%
- ・ 従来品と比べて、価格が安ければ、多少品質が低くても購入 6.1%
- ・ 購入にあたり環境に配慮した製品か否かは考えない 5.5%

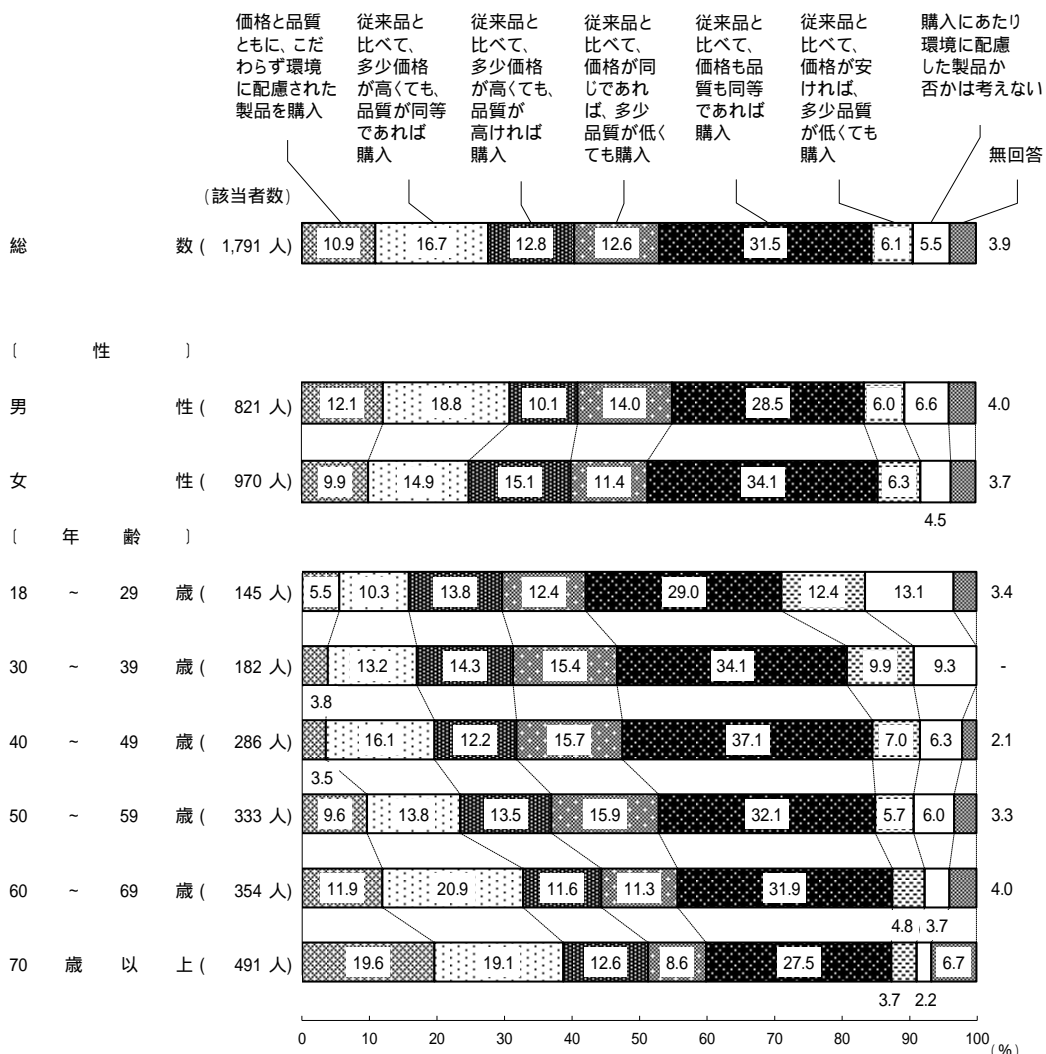


表6 環境に配慮した代替製品の購入条件

	該 当 者 数	た れ た 購 入 配 慮 さ	価 格 と 品 質 も に 、 こ	が 同 等 で あ れ ば 購 入	従 来 品 と 比 べ て 、 多 少 品 質	が 高 け れ ば 購 入	従 来 品 と 比 べ て 、 多 少 品 質	品 質 が 低 く て も 購 入	従 来 品 と 比 べ て 、 多 少 品 質	購 入 品 質 も 同 等 で あ れ ば	従 来 品 と 比 べ て 、 多 少 品 質	が 低 く て も 購 入	従 来 品 と 比 べ て 、 多 少 品 質	購 入 品 質 も 同 等 で あ れ ば	従 来 品 と 比 べ て 、 多 少 品 質	購 入 品 質 も 同 等 で あ れ ば	購 入 品 質 も 同 等 で あ れ ば	購 入 品 質 も 同 等 で あ れ ば	購 入 品 質 も 同 等 で あ れ ば	購 入 品 質 も 同 等 で あ れ ば
総 〔 都 市 規 模 〕 大 都 市	1,791	10.9	16.7	12.8	12.6	31.5	6.1	5.5	3.9											
東 京 都 区 部	500	10.4	16.6	13.0	10.0	32.8	7.0	5.6	4.6											
政 令 指 定 都 市	110	10.9	19.1	10.0	13.6	30.0	3.6	10.0	2.7											
中 都 市	390	10.3	15.9	13.8	9.0	33.6	7.9	4.4	5.1											
小 都 市	722	9.8	16.5	13.4	14.0	31.4	6.2	5.3	3.3											
町 村	403	12.4	15.1	12.9	12.7	32.3	5.2	5.7	3.7											
〔 性 〕	166	13.3	21.7	9.0	14.5	26.5	5.4	5.4	4.2											
男 性	821	12.1	18.8	10.1	14.0	28.5	6.0	6.6	4.0											
女 性	970	9.9	14.9	15.1	11.4	34.1	6.3	4.5	3.7											
〔 年 齢 〕																				
18 ~ 29 歳	145	5.5	10.3	13.8	12.4	29.0	12.4	13.1	3.4											
30 ~ 39 歳	182	3.8	13.2	14.3	15.4	34.1	9.9	9.3	-											
40 ~ 49 歳	286	3.5	16.1	12.2	15.7	37.1	7.0	6.3	2.1											
50 ~ 59 歳	333	9.6	13.8	13.5	15.9	32.1	5.7	6.0	3.3											
60 ~ 69 歳	354	11.9	20.9	11.6	11.3	31.9	4.8	3.7	4.0											
70 歳 以 上	491	19.6	19.1	12.6	8.6	27.5	3.7	2.2	6.7											

表6 - 参考 環境に配慮した代替製品の購入条件

	該 当 者 数	代 替 製 品 を 購 入 し て も よ い と は	代 替 製 品 を 購 入 し て も よ い と は	代 替 製 品 を 購 入 し て も よ い と は	代 替 製 品 を 購 入 し て も よ い と は	代 替 製 品 を 購 入 し て も よ い と は	代 替 製 品 を 購 入 し て も よ い と は	代 替 製 品 を 購 入 し て も よ い と は	代 替 製 品 を 購 入 し て も よ い と は	代 替 製 品 を 購 入 し て も よ い と は
令 和 元 年 8 月 調 査	1,667	13.7	22.9	20.8	35.5	3.4	0.2	3.7		

(注1) 令和元年8月調査では、「(資料を提示して)あなたは、普段の買い物の際、どのような条件が合えば、代替製品を購入してもよいと思いますか。価格・品質などの条件のうち、あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。」と聞いている。

(注2) 令和元年8月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年9月調査との単純比較は行わない。

プラスチックごみ問題に関する世論調査

令和4年9月

(n=1,791)

ここからは、プラスチックごみ問題について
おうかがいします

全員の方が【資料1】を読んでから下の問1
以降にお答えください

【資料1】

プラスチックは、軽くて丈夫であるという便利な特性から、様々な製品に利用される一方、適正に廃棄されず海洋プラスチックごみ問題を引き起こしているなど課題もあります。

日本では2020年7月にレジ袋有料化が始まり、レジ袋使用量は半減、今年4月には新たに「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、プラスチックの製品設計からごみ処理までのライフサイクル各段階で、資源循環の取組を促進することとされました。

問1. レジ袋有料化や新しい法律の施行により、あなたのプラスチックごみ問題への関心やご自身の行動に変化はありましたか。(は1つ)

- (19.3) 1. それら以前よりプラスチックごみ問題への関心が高く、マイバッグ・マイボトルの持参、スプーン・ストローの辞退など具体的な行動をとっていた
- (58.8) 2. プラスチックごみ問題への関心が高まったため、マイバッグ・マイボトルの持参、スプーン・ストローの辞退など具体的な行動を行うようになった
- (16.2) 3. プラスチックごみ問題への関心は高まったが、行動に変化はない
- (4.2) 4. プラスチックごみ問題への関心は高まっておらず、行動に変化はない
- (1.5) 無回答

問2. あなたは、2020年7月にレジ袋有料化が始まってから、レジ袋を辞退するようになりましたか。(は1つ)

2又は3と答えた方は問3へ

- (16.1) 1. 有料化以前から、レジ袋を辞退している
- (44.1) 2. 有料化後から、レジ袋を辞退している …
- (25.3) 3. レジ袋が有料の場合は辞退し、
無料の場合は受け取っている ……………
- (13.3) 4. 有料化後も、レジ袋を購入している
- (1.2) 無回答

右の段の問4に進んでください

問2で「2.有料化後から、レジ袋を辞退している」「3.レジ袋が有料の場合は辞退し、無料の場合は受け取っている」と答えた方への質問

問3. レジ袋を辞退している理由は何ですか。(は1つ)
(n=1,243)

- (13.8) 1. 有料化後、レジ袋を使用しないことを心掛けるようになったため
- (68.5) 2. 有料化後、マイバックを持ち歩くことが多くなったため
- (3.3) 3. 少量しか買い物せず、そもそもレジ袋は必要ないと感じるため
- (11.3) 4. レジ袋が有料の場合、購入するほどの必要はないと感じるため
- (0.7) 5. その他(具体的に) _____
- (2.3) 無回答

ここからは全員の方がお答えください

問4. あなたは、プラスチックを使用した様々な製品やサービスの中で、過剰だと思うものはありますか。
(はいいくつでも)

- (22.1) 1. レジ袋
- (24.2) 2. 飲み物と一緒に提供されるストロー
- (33.6) 3. 飲み物と一緒に提供されるかき混ぜ棒・マドラー
- (27.8) 4. 食べ物と一緒に提供されるスプーンやフォークなどの食器
- (50.2) 5. お弁当で使われている使い捨て小分け用容器や飾り
- (40.2) 6. ペットボトルのラベル
- (26.5) 7. 菓子類などの個包装
- (13.5) 8. スーパーなどのレジの近くに置いてあるロール状のポリ袋
- (38.9) 9. 通販などで運搬の際に使用される包装や緩衝材
- (25.1) 10. カミソリやくしなどのアメニティグッズ
- (23.2) 11. クリーニングで提供されるハンガーや衣類用のカバー
- (4.7) 12. その他(具体的に) _____
- (2.8) 無回答 (M.T.=332.9)

次のページの問5に進んでください

問5. 企業などの取組だけでなく、1人1人の取組が、海洋プラスチックごみ問題や気候変動問題などの環境問題の解決につながります。あなたは、プラスチックごみ問題の解決への貢献として、今後どのようなことに取り組んでいきたいですか。(はいいくつでも)

- (45.4) 1. マイボトルを持参することにより、ペットボトルなどの使い捨ての飲料容器をできる限り使用しない
- (45.3) 2. スプーンなどの食器・ストロー・おしぼり・アメニティグッズをできる限り受け取らない
- (77.6) 3. 自治体などの分別ルールに従って、プラスチックごみと燃やすごみなどの他のごみを正しく分別する
- (30.8) 4. 再生プラスチックなどのリサイクル材や、植物を原料としたプラスチックなどを使った製品を積極的に選ぶ
- (12.6) 5. 清掃活動に積極的に参加する
- (20.7) 6. 使用後も再利用するリユースや修理をして再度利用可能とするサービスの活用を積極的に行う
- (56.1) 7. シャンプーなどの詰め替えパック、鮮魚・精肉や惣菜などが入っていた発泡トレイなど使用済みプラスチック製品の店頭回収に協力する
- (12.3) 8. 企業や自治体による、環境に良い取組の実績に関する掲示や発表を読む
- (2.2) 9. その他(具体的に) _____
- (3.4) 10. プラスチックごみ問題に関心はなく、今後、新たに取組んでみたいと思うことはない
- (0.3) 無回答 (M.T.=306.6)

全員の方が【資料2】を読んでから下の問6にお答えください

【資料2】

プラスチックごみ問題の解決への貢献に向けて、リサイクル材や植物を原料としたプラスチックや微生物によって分解される性質をもつ生分解性プラスチック、あるいはプラスチックの代わりに紙などの代替素材を使用するといった、環境に配慮した製品が販売されています。環境に配慮した代替製品は従来品と比べて、耐久性が低くなる、価格が高くなるなど、品質や価格などが変化することがあります。

問6. あなたは、日用品・雑貨などの環境に配慮した製品について、どのような条件が合えば購入してもよいと思いますか。価格・品質などの条件のうち、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(はい1つ)

- (10.9) 1. 価格と品質ともに、こだわらず環境に配慮された製品を購入
- (16.7) 2. 従来品と比べて、多少価格が高くても、品質が同等であれば購入
- (12.8) 3. 従来品と比べて、多少価格が高くても、品質が高ければ購入
- (12.6) 4. 従来品と比べて、価格が同じであれば、多少品質が低くても購入
- (31.5) 5. 従来品と比べて、価格も品質も同等であれば購入
- (6.1) 6. 従来品と比べて、価格が安ければ、多少品質が低くても購入
- (5.5) 7. 購入にあたり環境に配慮した製品か否かは考えない
- (3.9) 無回答